

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達支援ルームピッピーノ				公表日 令和7年2月14日			
		チェック項目		はい		いいえ		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ	はい	いいえ				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		5	1	職員が目が行き届くように配慮している活動によって、パーティションで区切る事で静と動を意識している			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5	1	職員の連携がよく無駄なうごきがない。		できれば職員の増員をお願いしたい	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	0	視覚からアプローチ出来るように、絵カードやスケジュールを使って提示している		個々の特性に応じ、より個別的な配慮や支援をしていくことが求められる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6	0	玩具など手に触れる物等毎日消毒し衛生面に気を付け、清掃を徹底している			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6	0	1人になりたい空間など落ち着けるスペースを提供している 気持ちが落ち着かなくなった時には、クールダウン出来る場所に行く等工夫している。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		5	1	常勤職員を中心に、業務改善に取り組んでいる。		PDCAサイクルには十分参画できていないため、成果の報告と改善の意見を求めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	0	今年度は保護者の意向を取り入れた参観日を取り入れた。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	0	日報や職員面談シートを活用し、意見を把握する機会を設けた。		改善すべき意見に取り組んでいく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				第三者による外部評価は行っていない。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。		6	0	zoomや外部講師を招いての研修も豊富に行われている		次年度はEラーニングを導入し、安定した人材育成に取り組む。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6	0	HPとハグシステムに公表する。		定期的に見直しを図り、質の向上に努める。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。		6	0	保護者ニーズと行動観察によりアセスメントを行い、児童発達支援計画を作成している。		次年度は標準化された検査を用いてアセスメントを行い、個別支援計画に活かしていく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		5	1	児発管による定期的な行動観察とこどもの支援に関わる職員から聞き取りを行い、支援の方向性の統一を図っている。		聞き取りの機会を増やしていきたい。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6	0	共通認識をもち、取り入れながら行っている			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6	0	インフォーマルアセスメントは毎日、フォーマルアセスメントは定期的に行っている			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		6	0	10月以降の個別支援計画に全ての項目を含んで作成している。		内容の精度を上げていきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		6	0	発達段階に応じた活動を皆で話し合いして行っている 必ずチームで考えるようにしている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		6	0	同じ活動でも個々に応じたものにしていく 支援目標に応じた活動を行っている。 色々な活動が出来るように、過去の活動をフィードバックしながら考えている			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		6	0	こども発達段階や特性に合わせてクラス替えを行っている。また活動内でも適宜、個別や小集団を組み合わせ、支援の効果を発揮できるようにしている。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		6	0	事前に職員間で打ち合わせし、様々な想定をし共有して連携している 送迎で参加出来ない時もあるが、インフォーマルアセスメントを見ながらその日行う課題について話し合っている			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	日々の活動を振り返り、意見交換を行い、次の支援に活かせるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	細かな所まで記録をしている。記録する時にはチームで話し合いながら、次へ生かせるようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		次年度はインフォーマルアセスメントの他に標準化された検査を用いて評価を行っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者と必要に応じて担当職員が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		協議会等に参加し、体制を整えていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	発達段階に合わせた上で移行を意識した取り組みも実施している。必要に応じて情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	保護者の希望に応じて情報提供を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1		現在は連携を取れていないので、連携を図っていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	併行利用児が多いため、交流は行っていない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	お迎えに来られた時やハグシステムを使い、その日の様子を伝えている	家庭や園での様子の聞き取りを増やしていきたい。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	就学先の決め方に関するセミナーや音楽会などを開催した。	回数が少なかったため、次年度は回数を増やしたい。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約利用時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		面談の回数が少なかったため、次年度は回数を増やしたり、相談する機会を設けたりしていきたい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	家族で参加できる音楽会を実施した。	ニーズに応じてイベントの回数も増やしていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	LINEを活用し、相談や申し入れが気軽にできる体制を整えている。緊急を要する際には面談等を行っている。	相談しやすい体制づくりを進めていきたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	LINEを通じて行事予定や案内等を連絡している。ハグシステムを通じて日々の活動内容を報告している。Instagramを通じて事業所全体の活動内容を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	写真掲載時はダブルチェックをしている。	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		現在は年齢や利用頻度を考慮し行事等は行っていないが、地域の資源を活用した支援や行事を行っていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	訓練、研修を行っている 定期的に訓練をしている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	避難訓練を2回行った。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	利用契約時に確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	食事提供を行っていない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	送迎車両に置き去り防止安全装置を設置した。	安全計画の見直しを行い、精度を高めていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		次年度から利用契約時に説明を行う。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	些細な事でも職員間で共有し話し合っ対策を行っている ヒヤリハットを作成したり、ヒヤリハット未済の事案もスタッフ間で共有している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	利用契約時には保護者に説明している。必要な研修を実施している。現在、身体拘束が必要な児はいない。	